

平成30年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会

－ 第1回理事会〈総会〉 －

－ 第2回九州地区特別支援教育研究連盟「宮崎大会」実行委員会 －

議事録

日時：平成30年6月29日（金）

午後1時30分～4時

会場：みなみのかぜ支援学校

I 開会行事

(1) 会長挨拶（川越校長 T）

こんにちは。ご多用の中ありがとうございます。本日は県特研連の知的障がいの理事会、秋の九特連大会の実行委員会ということで、協議をさせていただきます。九特連については、参加者動員の在り方や役割分担などについて話を深められたら幸いです。先生方のお力添えで大会が無事成功することを願っています。

先生方のお手元に完成した二次案内がございますでしょうか。二日目の講座では文科省から中村大介先生をお招きして、自立活動の充実についてお話しさせていただきます。なかなかこのような機会はないので、各学校から多くの先生方に参加していただきたいと思っています。よろしくおねがいします。

(2) 本日の日程、配付資料確認（司会：山之口教頭 T）

県特連の議題後、休憩を挟んだ後、九特連の話に移りたいと思います。全てを16:00までに終わりたいと思っています。

(3) 出席者自己紹介（名簿参照）

(4) 知的部会について（説明）P1～P2（事務局：西内 T）

・P2 ◎東臼杵→日向・東臼杵に書き直してください。

・宮崎県特別支援教育研究連合は大きく分けるとブロック部会と障がい種別教育研究部会の2つに分けられる。ブロック部会は、県を6つの地区に分けたもの。毎年持ち回りで研究大会を開催しており、今年度は西諸県ブロック（小林）にて7月下旬に開催。知的部会は障がい種別教育研究部会に含まれる部会である。知的部会所属の支援学校8校から理事1名、小中学校は11地区から各1名の理事を選出いただいております。19名の理事がいる。毎年夏に開催している研究大会は、本年度は11月の九州大会と併催とする。運営の為の役割等は1ページに記載してある組織図を確認。ホームページもあり、日向ひまわり支援学校で管理している。今後、九特連『宮崎大会』についても掲載する予定。

質問等なし

II 総会

(1) 平成29年度知的部会事業報告 P3、4（事務局：西内 T）

司会：事業報告について了承いただけますか？→了承

(2) 平成29年度知的部会会計報告 P5（事務局：林 T）

・昨年は研究大会の会場費（ツワブキ武道館）がかからなかった為、研究大会関連の支出がで32,346円になりました。

次年度繰越が224,046円となりました。

質問(都北地区理事)：九特連大会準備金は50万とあるが？

回答(林T)→今年度の九特連大会の為に九特連の通帳へ振り込んだ金額。

司会：決算報告について了承いただけますか？→了承

(3) 平成30年度知的部会事業計画 P6～P7 (事務局：西内T)

第4分科会司会：木花中 藤田司先生

第5分科会司会：主幹教諭 重黒木俊朗先生を挿入

質問等なし→承認。(案)を消す。

(4) 平成30年度知的収支予算案について P8 (事務局：林T)

質問(延岡しろやま理事)：支出について・・・通信運搬費と消耗品費が昨年同様だが、九特連大会もあるので増やした方が良いのではないかと。

回答(林T)→県内は知的部会予算から、九州各県へは九特連の予算から支出することになっているのでこの金額になっている。昨年度は研究大会会場費が減免申請できた為、不要となったが、弘済会からの助成金への報告もあつて、消耗品を多めに購入することとなり、補正予算を組んだ経緯があつた。

補足(小中特研事務局)：小中特研の負担金について。九州大会開催年と前年度に倍額としている。

質問(日南地区理事)：負担金納入について、小中学校への請求はどのようなかたちで行われるのか？

回答(林T)→小中特研から一括納入してもらうことになっている。

補足(小中特研事務局)→各小中学校へは各学校に出している文書で確認してほしい。すべての研究部会の負担金をまとめて徴収するようになっている。

その他、質問等なし→承認。(案)を消す。

(5) 知的障がい教育研究部会規則 P9・10 (事務局：林T)

・P10第17条 負担金について

昨年度は別に定める規定と書いてあつたが、直接書いて良いと事務長にも指摘され、内容は変わらないがそのように表記したい。(林T)

補足(小中特研事務局)：倍額というのは小中学校負担分の1万円にだけかかる。昨年度と本年度は九州大会ということで2万円負担。今後も金額は決まっていないが、学級数が増えていることもあるので変わるかもしれない。今のところ事務局提案のとおりでよい。

司会：承認(案)を消して、平成30年6月29日と付け加えて規則を定めさせていただく。

補足(小中特研事務局)：小中特研については、負担金の額が来年度にならないとはっきりしない部分があるが、変更があるかもしれない旨、理事の方が理解してくださっているとよい。

(6) 九特連・全特連大会提案者等について P11 (事務局：西内T)

・平成29年度以降の九特連・全特連大会提案者について、それぞれの地区がいつ担当になるのかを把握して、各地区で伝達して行ってほしい。

補足(川越会長)・・・次年度の鹿児島大会は九情連大会と併催。

10月31日(木)～11月1日(金)・かごしま県民交流センターにて

(7) その他

・平成31年度以降の知的部会運営について(別紙：県特研連知的部会について)(川越会長)

夏季休業中、参加希望者に見合った研究大会会場の確保が困難。遠方からの参加が難しいことなどもあり、本部会の目的が達成されていない。昨年度までに、31年度は研究大会は行わないで今後についての検討を行うことで確認をしている。2月の理事会から、今後について考えていく。

今後に向けての提案として、県北、県南、県西等に分けてそれぞれの地域の先生が参加しやすい内容を支援学校が中心となるだろうが、地域の先生のニーズに答えられる形で進めていければと考えている。ローテーション等は今後考えていければよい。各地区持ち帰って、検討していただきたい。九情研も近く開催されるので、そういったことも考えてもらえたらいい。

- ・2番の2つ目。知的部会は開催しない→知的部会の研究大会は開催しないという意味。知的部会は続く。

質問(都北地区理事)：3番のブロック部会とは？

回答(川越会長)→6ブロック部会で持ち回っている県特連の研究大会のこと。(p2資料参照)1年に1回、ブロックが持ち回りで研究大会をしている。それとは別に障がい種別で研究大会をしてきている。障がい種別の大会を知的部会については、地域を分けて行ってはどうかという提案です。

質問(児湯るびなす理事)：費用運営費の問題。知的部会の運営費をもらって運営をするということではいいか。

回答(川越会長)→よい。

意見(日南くろしお理事)：県南は1校しかないなので、県西と含めて運営させてほしい。

質問(日南くろしお理事)：想定する研究大会の規模と予算等について教えてほしい。

回答(川越会長・林T)→隔年実施とし、約20万円の予算。内容は各地区の小中学校のニーズをくみ取って検討して欲しいと考えている。

質問(児湯るびなす理事)：隔年実施ということで4地区に分けた場合、8年に1回当番校が回ってくるということでいいか。地区をベースに考え、赤字運営でもいいのか、ニーズだけでは難しいのではないか。

回答(川越会長)→赤字運営ではなく、予算内で運営してほしい。今日初めて提案させていただいたので、今後いろいろな意見を出してもらえれば良い。

- ・会費納入のお願い。(事務局：林T)

本年度の予算が通りましたので、負担金の納入をお願いしたい。納入期限が8月31日となっているが、次回の実行委員会が8月7日のため、その時に納入してもらえるとよい。

Ⅲ 第2回九州地区特別支援教育研究連盟「宮崎大会」実行委員会

(1) 大会概要説明 P1・2 (九特連事務局：西山T)

知的障がい教育研究部会の理事は九特連大会の実行委員となるため、協力をお願いします。日程や会場(ニューウェルシティ・宮崎宮崎中央公民館)について説明。2日間の日程で行う。1日目午前中に、評議員会があり、午後から全体会。その後、分科会の係打ち合わせ会、機器の動作確認。夜は、情報交換会あり。2日目は分科会(7分科会)がある。今回は26年度に全国大会が本県で開催された際、分科会会場となった学校の授業参観等を行った。そのため、今回の大会では授業参観は設定しない。その代わりに全体会講座を設定する。

- ・2次案内の説明(資料参照)(九特連事務局：森本T)

分科会の会場については、参加者の人数によって変更あり。司会者、助言者、記録の先生も申し込みを行う。

質問(都北理事)：1日目の終了時間について、実行委員会のメンバーは交流会に参加するのか？

回答(西山T)→全体会終了後片付けが終わり次第解散 or 分科会打ち合わせ後解散となるので係によって異なる。交流会については希望者のみ。

質問(延岡しろやま理事)：司会者、助言者、記録者は2次案内での申し込みと言われたが、理事や実行委員も同じなのか？

回答(西山T)→理事と実行委員については別に申し込みを行う。

(2) 大会組織図・事務局役割分担 P3～P4 (九特連事務局：西山 T)

・説明 資料通り

(3) 事業計画 P5 (九特連事務局：西山 T)

・説明 資料通り

(4) 大会予算 P6～P7 (九特連事務局：柴下 T)

・予算案のタイトルに「第11回宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会研究大会」を挿入する。(併催の為)

・理事と実行委員については、JTBの申込みを経由せず事務局に直接参加費を納入する。

・小中特研より本年度10万円の補助を行う。(小中特研理事：小野 T)

(5) 参加者動員計画 P8～P9 (九特連事務局：西山 T)

・「宮崎大会」の開催は当初夏休みに実施予定だったが、諸事情で11月の開催になった。予算が少ないが会場費等がかかる為、参加者から徴収する参加費に頼らざるを得ない状況。参加動員の協力をお願いしたい。1日参加でも、会費は3,000円徴収する。1日目と2日目の参加者が入れ替わっても良いが、紀要と集録紙は1部とする。

意見(都北地区理事)：動員については、各地区代表の方から言って頂いた方がスムーズである。

回答(西山T)→夏季休業中の校長会において県小・中特研会長の原口校長先生が説明をする予定である。

補足：(原口副会長) 宮崎市については、研修費の予算があり、参加費を負担する予定あり。

補足：(小中特研事務局) 各地区の理事会の先生には、動員についてはお知らせしている。

意見(延岡しろやま支援学校理事)：県北地区の小中学校動員は難しい状況であるので、しろやま支援学校から出す数を以前出していた数よりも増やしているの、延岡・西臼杵を含めての動員数として考えてほしい。

回答(西山T)→今年度になり、しろやま支援学校からはたくさんの参加者を出していただけるとお聞きしているの、その数字を県北地区の動員数に反映させてお知らせします。

補足(大会事務局長)→大会自体が参加費に頼っていることがあるので、申し訳ないが、動員数については協力をお願いしたい。

(6) 実行委員役割分担 P10～P12 (九特連事務局：西山 T)

・説明 資料通り

(7) 分科会について P13 (九特連事務局：森本 T)

・使用機器について

訂正をお願いします。ニューウェルシティ会場の「雲海」のプロジェクターは、「せいりゅう」ではなく「みやざき中央支援」に変更。

- ・記録用のパソコンについては、記録係で準備する。

質問（都北地区理事）：学校用 p c は持ち出しできないが、個人用を持って行くのか？

質問(延岡しろやま支援学校理事)：分科会記録用パソコンは各分科会 2 台必要か？

回答(森本 T)→利用する p c や台数については、記録の担当になっている先生同士で話し合っ

(8) その他

- ・情報交換会について（九特連事務局：西山 T）

第 1 日目 18：30～ニューウェルシティ宮崎にて 会費 6,000 円是非参加をしてほしい。

- ・2次案内を各地区で配布してほしい。昨日の午前中にできあがって午後に袋づめをして封をする時間がなかった。そのため、封をして各地区に配布してほしい。(研修会時や教育委員会のポストの利用)

質問(都北地区理事)：すべての小・中学校に配布するのか？

回答(西山 T)→すべての小・中学校に配布。(支援学級のない学校も含めて)

- ・実行委員追加スタッフの申し込みはせずに実行委員と同じ形式で行う。

質問(延岡しろやま理事)：保護者の参加についてはどうなったのか？

回答(西山 T)→保護者の参加については、宮崎ブロック内の小・中学校に案内を行う。

記念講演のみの参加とし、500円徴収する。

IV 連絡事項

- ・8月の部会の出張依頼文書を配布しているので、各学校で受付をお願いします。

V 閉会行事

副会長あいさつ（榎木田校長 T）

- ・今後の研究大会の在り方について、皆さんの意見をいろいろと聞かせて頂いて、今後検討していきたい。九特連については、2次案内ができあがり、関係の先生方、司会者や記録の係の先生に感謝したい。私たちがバックアップしていきたいと考えているので宜しくお願いしたい。